

## 石動北部地区 意見交換概要

日時 令和4年8月26日(金)18:59～20:23

場所 市民交流プラザ

出席 16名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	第7次総合計画について。6つの基本目標とあるが、R元～R4年度まで何をしてきたのか。また、R5年度以降、具体的に何を実施するのか。	①魅力あふれる産業と経済のみなぎるまち、②人を呼び込む都市空間と多彩な交流でにぎわうまち、③未来にやさしい環境と安全安心に暮らせるまち、④市民と行政が協働して自治体経営を支えるまち、⑤人をすこやかにはぐくむ教育と歴史文化がいきづくまち、⑥心がやすらぐ健康とあたたかな福祉で支え合うまち、についてそれぞれ説明。令和6年度から第7次総合計画の後期が始まる。足りないところは、位置付けてしていくので、ご意見をいただきたい。
2	防犯カメラは、要望すると設置できるということだが、市で計画的に設置をしているか。	警察署と協議し、計画的に設置している。用水については、土地改良区が安全柵の設置をしている。危険箇所はできる限りパトロールをし、安全柵は土地改良区で設置する。
3	石動地区の人口が激減している。若い人が住むような対策が必要ではないか。	石動中心市街地を活性化するためには、「若い世代の定住」「空き家対策」ということになる。少子化については、私どもができることは、結婚していただくということに尽きる。若い世代に定住いただけるよう「働く場を作る」、働く場がない場合は、「富山や金沢に近く、便利であるという住みやすさ」を訴えていくことになる。進学で3大都市圏へ行かれ、就職、結婚というパターンが多い。それを止めることは厳しいが、移住したい方に、暮らしやすさを訴えていきたい。
4	高岡駅前では、若者の開業が呼び水となり出店が増えているとの新聞報道があった。石動中心市街地の活性化に対して何か対策をしているのか。	今年は飲食業だけでなく、若い方で市の助成金を活用し、出店があった。その方たちが小矢部は良いということで、繋がっていただければと思っている。まちづくりという観点から、アウトレットモールと石動町を一つのエリアとし、賑わいを作り出したいということが大きな構想である。
5	石川県との交流をより一層強化しなければならないと思う。くりからトンネル第2トンネルの進捗状況を教えてほしい。	津幡町と合同要望し、6年目となる。ようやく用地交渉・測量設計が終わった。伐採したところから作業道に入り、国道8号線の下側から源平トンネルを抜け、車屋を通り、津幡町に出る。予算も順調に付いているので、令和5年度には着工される。
6	北部地区は、曳山6町内、獅子舞3町内、本行寺など文化が多くあるが、子供が少なくなっている。運営に問題が出てくるのではないかと。関心も薄れてきているので、三大祭りを行政主体のまつりにできないか。	伝統文化(曳山、獅子舞、あんどん祭り等)が厳しくなってきたことは、重々承知している。人的、財政的なことも含め、市の三大祭り保存伝承委員会を定期的に開催し、できる方法を委員会で議論し、行政で人的、財政的に下支えをしていきたい。